

新型コロナウイルス感染症患者（15例目）の発生について（第1報）

令和2年4月10日（金）、広島市衛生研究所における検査により、4月9日（木）に確認された本市14例目の患者の濃厚接触者の1人が、新型コロナウイルス感染症の患者であることが確認された。

1 患者概要

- (1) 年代：20歳代
- (2) 性別：男性
- (3) 居住地：広島市
- (4) 職業等：大学生（広島市立大学）
- (5) 症状：倦怠感、頭痛、首の痛み（現在、症状は安定している。）

2 検査に至った経緯

- 4月4日（土） 倦怠感、頭痛、首の痛み出現
4月5日（日）～6（月）
倦怠感、頭痛、首の痛みが継続（以降は症状軽快）
4月10日（金） 本市14例目の患者の濃厚接触者として保健センターが検体を採取
PCR検査の結果、新型コロナウイルス陽性と判明
4月11日（土） 感染症指定医療機関に入院（体温36.8℃）

※本人からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴はなかった。

3 今後の対応

- ・現在までに確認できた患者の行動歴をもとに、濃厚接触者あるいはその可能性のある者に対し、患者との接触状況や健康状態についての把握など、逐次、積極的疫学調査を実施しているところである。
- ・更に患者の詳細な行動歴の確認を行った上で積極的疫学調査を行い、その結果をもとに、当該濃厚接触者に対する、健康観察（毎日の体温確認等）と、必要に応じてPCR検査を適切に実施することとしている。
- ・この調査により把握した感染拡大防止のために必要な情報は、速やかに市民に広く提供することとしている。